

分野	専門分野	科目名	症状を示す小児の看護																				
時間	15時間	開講時期	2年次（後期）																				
講師名	外部講師																						
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病・障害に対して子どもと家族が示す反応について、健康問題や発達段階による特徴を理解し、必要な看護を理解できる。 2. 小児における疾病の経過と看護について理解できる。 3. 小児看護のなかで外来看護の果たす役割と、小児の入院と小児・家族への影響について理解できる。 4. 小児期における、種々の症状に対する看護を理解できる。 5. 障害の概念、障害児と家族の特徴、社会的支援など、障害児看護の基本知識を理解できる。 																						
講義形態	①講義・演習																						
講義内容																							
<p>疾病・障害をもつ小児と家族の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病・障害が小児と家族に与える影響 2. 子どもの健康問題と看護 <p>子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入院中の子どもと家族の看護 2. 外来における子どもと家族の看護 3. 在宅療養中の子どもと家族の看護 4. 災害時の子どもと家族の看護 <p>子どもにおける疾病の経過と看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性期にある子どもと家族の看護 2. 急性期にある子どもと家族の看護 3. 周手術期の子どもと家族の看護 4. 終末期にある子どもと家族の看護 <p>症状を示す小児の看護</p> <table border="0"> <tr> <td>①不きげん</td> <td>②啼泣</td> <td>③痛み</td> <td>④呼吸困難</td> <td>⑤チアノーゼ</td> </tr> <tr> <td>⑥ショック</td> <td>⑦意識障害</td> <td>⑧痙攣</td> <td>⑨発熱</td> <td>⑩嘔吐</td> </tr> <tr> <td>⑪下痢</td> <td>⑫便秘</td> <td>⑬脱水</td> <td>⑭浮腫</td> <td>⑮出血</td> </tr> <tr> <td>⑯貧血</td> <td>⑰発疹</td> <td>⑱黄疸</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>障害のある子どもと家族の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のとらえ方 2. 障害のある子どもと家族の特徴 3. 障害のある子どもと家族への社会的支援 <p>子どもの虐待と看護</p>				①不きげん	②啼泣	③痛み	④呼吸困難	⑤チアノーゼ	⑥ショック	⑦意識障害	⑧痙攣	⑨発熱	⑩嘔吐	⑪下痢	⑫便秘	⑬脱水	⑭浮腫	⑮出血	⑯貧血	⑰発疹	⑱黄疸		
①不きげん	②啼泣	③痛み	④呼吸困難	⑤チアノーゼ																			
⑥ショック	⑦意識障害	⑧痙攣	⑨発熱	⑩嘔吐																			
⑪下痢	⑫便秘	⑬脱水	⑭浮腫	⑮出血																			
⑯貧血	⑰発疹	⑱黄疸																					
【テキスト／参考文献】																							
医学書院 系統看護学講座 専門分野小児看護学[2] 小児臨床看護各論																							
【評価】																							
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする																							